

# はくびつかいん

HIRATSUKA CITY MUSEUM '87 6月号

## 6月の行事

6月

- 2~10 臨時休館
- 13 土 土曜観察会（自然の新聞つくり）  
石仏を調べる会
- 14 日 自然観察会（比奈窪）
- 20 土 古文書講読会  
天体観察会（科学教室）
- 21 日 相模川を歩く会
- 27 土 土曜観察会（自然の新聞つくり）  
石仏を調べる会
- 寄贈品コーナー
- 11~7/30 考古部門（日向岡遺跡）

- ・プラネタリウム  
~7/12 太陽に近い星  
16~7/9 幼稚園向け投影

7月

- 4 土 古文書講読会
- 11 土 土曜観察会  
石仏を調べる会
- 18 土 古文書講読会

### ○体験学習「土器を作ろう」



内容：遺跡から出土した縄文式土器の複製品を作り、縄文人の技術を学びます。

日・時：7月22日・23日 午前10時から

場所 博物館科学教室

募集対象 親子2名10組（ただし子供は小学生5年生以上で2日間参加できる方）

申し込み：7月10日まで往復ハガキで。多数の場合抽選します。



### 臨時休館のお知らせ

6月2日~10日まで全館の殺虫消毒のため、臨時に休館させていただきます。

### 暮らしの暦

**仕事** 春蚕の収穫がすむとボタ餅赤飯で祝い、すぐ大麦小麦の刈取り、甘藷の作切り蔓返し、田植えと、この月は寝る間もない忙しさ。

**植エアゲ** 田植え後、苗を3把洗って束ね、荒神様に供えた。赤いご飯（ウルチ米にササゲを入れたもの）を炊き、荒神様を始め神々に供え、農具を洗って土間に並べ、そこにも供えた。

**野アガリ** 部落全体の田植えが終った頃をみはからって、部落の皆が一斉に休みを取ること。田植えが終っても夏作物の落花生、大豆小豆、ササゲ、粟きびなどの播きつけがあるので、野アガリは7月初めになってからの方が多い。今

養蚕を続けている農家は僅か2軒だけ。植エアゲの神まつりも以前よりは簡素になったが、ご馳走をつくって祝う心根に変りはない。野アガリは村役員が寄って相談し、頃合いの日を決める由。立看板の告知を、見かけたことはありませんか。

# 天文展示がちょっと変りました



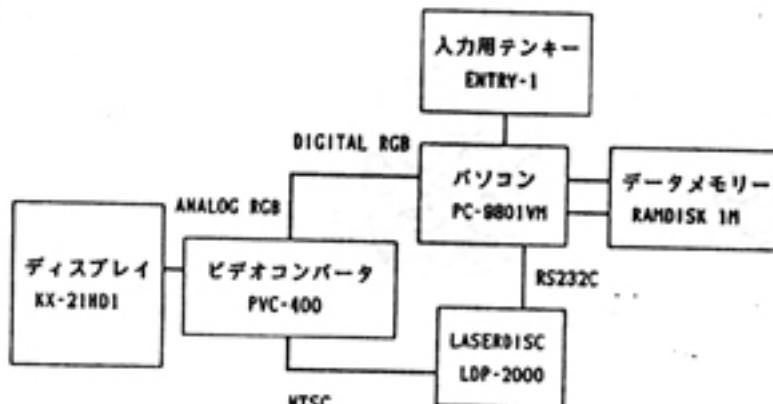
3階の星のひろばにある、コンピュータを使った展示のプログラムを  
ちょっと変えました。お気づきですか？



この機会にプログラムの解説も交えながら展示のご紹介をしましょう。

## ★ レーザーディスクが入っています

絵の出るレコード、レーザーディスクが普及してきました。レーザーディスクの特徴は、たくさんの絵の中から希望する1枚をあつと見たいときに引き出して見せたり、動画を望みのスピードで再生したりできます。そして、これらの仕事をコントロールするのにコンピュータが使えるのです。展示には、天文の関係の絵が約1万3千枚、動画が62本入ったアメリカ製のディスクを使っています。



## ★もちろん、コンピュータも

レーザーディスクのコントロールにコンピュータを使っていると書きましたが、コンピュータはこの展示の主役です。プログラム中のぼう大な計算をこなしたり、たくさんのデータを読みながら画面に絵を書いたり、レーザーディスクに命令を送ったりしています。使っているコンピュータは展示用に強化はしてありますが、普通の16ビットパソコンです。プログラムのはほとんどはおなじみのBASICで書かれています。

これらのハードを使って、皆さんに宇宙のいろいろな情報を自由に引き出してもらうことを目的に、この展示を作りました。

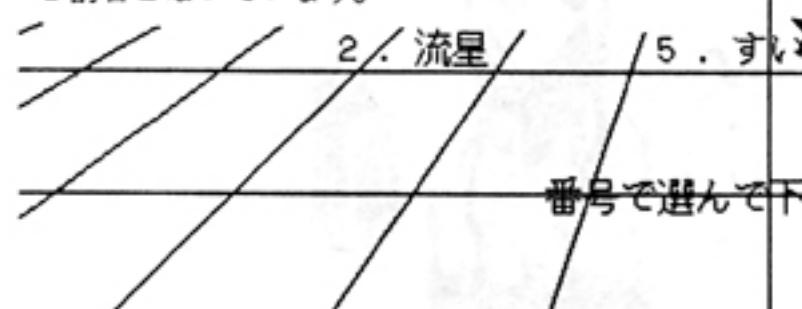
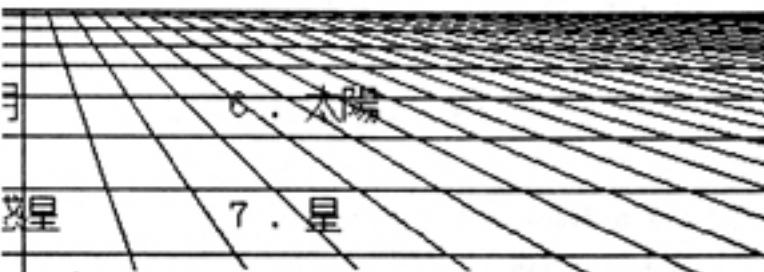
## ★ 誰が作ったのでしょうか

展示を見ていくと、このプログラムは、○○さんの作品ですという表示が出るときがあります。これらは、天体観察会のメンバーの高校生や大学生が作ったプログラムです。また、展示を作っていく過程で、たくさんの方々が協力してきました。なかでもプログラムを作るためのプログラムは、コンピュータに関する高度な知識がなくては出来ない場合があります。彼らの協力でプログラム作りが効率良く出来るようになりました。

# 天文クイズに挑戦しよう！

## ★だんとつ、アストロクイズ

プログラムを選んでキーを押す時、何番のプログラムが選ばれたのか、記録をとっています。この記録を見ると、1か月当たり平均して2000回の利用があります。九つのプログラムの中で人気最高はアストロクイズで、利用の5割をしています。次が星座の辞典で2割。あとはほぼおなじ割合となっています。

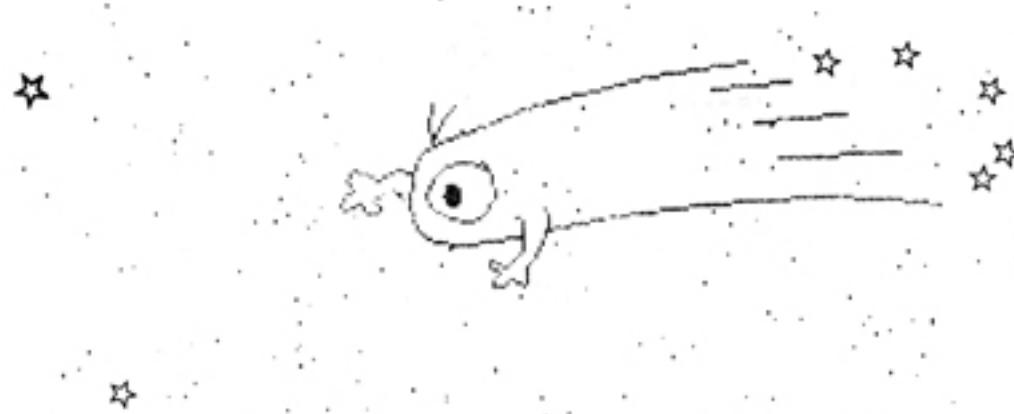


SEITA'S ASTROQUIZ Ver1.0 1986 7/13 Copyright by S.Emori

★アストロクイズがむずかしくなった？  
アストロクイズに新しい問題が入って、今までより少しむずかしくなりました。今まで毎回同じ順番に同じ質問が出てきていたので、答えの番号をおぼえてしまうおきこうさんがいっぱいいました。今度はそうは行かないぞ。

## ★星のひろばというプログラムが増えました。

私はこの展示をおとして、星空の情報をいろいろなプログラムでお知らせしたいと考えています。今のところプログラムの多くのものは、天文現象のシミュレーションや蓄えられた資料の表示です。新しいプログラムの「星のひろば」は、今までとは方向を変えて、星好きの皆さんとの交流の場にしてみたいと考えました。第一弾は、皆さんの声を聞く「アストロアンケート」。今後は、新しい天文のニュースや、プラネタリウムなどの行事案内、皆さんの声をのせるひろばも作っていく予定です。（馬）



## 社寺参詣

平塚市内で伝承されている各種の講や路傍などに残されている石塔・石仏、さらに家々に祀られているお札類からは、庶民の社寺参詣の実態を知ることができます。庶民レベルで社寺参詣が盛んになるのは、江戸時代に街道や宿駅などが整備されてからで、多くの場合は講社を組織して行われていました。

平塚の人たちが参詣に出かけた主な社寺としては、大山、富士山、御嶽山、三峰山、出羽三山といった山岳信仰に基づく社寺や伊勢神宮、金比羅さん、善光寺、成田山、道了さん、与瀬の権現さんなどの有名社寺があります。下の図はこれら社寺の位置を示したもので、遠隔地へも参拝したのがわかります。社寺参詣の講社は、社寺の名をもつていわれ、大山講、伊勢講、富士講、御嶽講、出羽三山講、道了講、権現講などが組織されているわけです。

## いろいろな講

講社というのは、ある特定目的をもって組織された家々の集団のこと、これには信仰的な講と経済的な講とがあります。経済的な講には無尽（頼母子講）、萱講などがあり、信仰的な講には上記の社寺参詣の講の他に、在地で行われる稻荷講、

平塚の講・石塔・お札にみる社寺参詣



庚申講御影 (平塚市根坂間)

庚申講、地神講、水神講、山の神講、念佛講、題目講、徳本講、不動講、觀音講、地蔵講、二十三夜講など多くがありました。在地の講は定まった期日にメンバーが集まり、掛軸を掛けるなどして行われるのが一般的です。写真の掛軸は庚申講のもので、主尊として一面六臂（顔が一面で六本の手）の青面金剛が描かれ、上端左右に日天・月天、中程左右に童子、下端に三猿（見ざる、云わざる、聞かざる）、左右に鶴が描かれています。青面金剛は邪鬼を踏みつけ、額に髑髏を戴き、三眼をもち、手には人身を吊り持つという恐ろしい姿に描かれています。青面金剛は市内各地にある庚申塔にも彫られています。あわせてご覧ください。

(小川)